

樋口一葉の世界 2023 奥山真佐子ひとり芝居ご案内(仮チラシ)

日本橋三越劇場公演

10月14日(土)午後3時開演

国の重要文化財指定の日本橋三越本店本館6階に1927年誕生した「三越劇場」は、ステンドグラスはめ込み天井、大理石と石膏彫刻に彩られた周壁など華麗な内装に包まれ、歴代の高名な諸先輩が踏まれた舞台。ここで連続13年目を迎えます「奥山のひとり芝居」は「うもれ木」一葉の兄(薩摩焼絵付師)がモデルの作品



前半の奥山は、本間豊堂氏(尺八)を相手役に主人公「入江籟三」を内藤真代氏(箏)を相手役に籟三の妹「お蝶」を演じます。



後半は、女流義太夫協会の鶴澤賀寿師の書下ろし曲で「絵付師・籟三慚愧の場」を初挑戦の浄瑠璃で語ります。御楽しみになさってください。



三越劇場受付開始は8月16日ですが、先行予約のご案内です。下記FAX、メールでお申し込みください。

下記にご記入の上、FAXでお送りください。本チラシ、座席指定席券、お振込先をお送りいたします。

..... FAX:0467-24-1900.....

お名前		
ご住所	〒 _____	
お電話	() - () - ()	
10月14日(土) 午後3時開演	三越劇場連続13年目公演 奥山真佐子ひとり芝居 樋口一葉原作/英次ともゑ脚本 「うもれ木」(全席指定・税込: 6,000円)	_____ 枚

メールをご利用の方は、info@okuyama104.com (終日受付)

お電話をご利用の方は、0120-03-9354 (三越劇場・通話無料) で8月16日10時からお受けしています。

〒211-0834 横浜市神奈川区台町11-25-203 いちまるよん有限会社 TEL045-290-5877

…… ご購入について ……

今回、書店販売はございません。

2,000円(本体)+200円(税金)+180円(送料)

スマートフォンで郵送いたします。

※上記送料は1冊の場合です。

2冊以上ご購入いただくと場合は、別途お知らせいたします。

※お振り込み先などについては、書籍の送付状にてお知らせいたします。

以下にご記入の上、FAXを送りください。

お名前	ふりがな
ご住所	〒
お電話	()
ご希望数	冊

FAX 0467-24-1900

※メールをご利用の方は：

info@okuyama104.com まで

表紙には、子どもたちの学ぶ権利、生きる権利のために宮城まり子氏が設立した日本最初の肢体不自由児童施設「ねむの木学園」の、ひらたやすひこさんの作品をご提供いただきました。

お問い合わせ：いちまるよん有限公司

〒211-0834

横浜市神奈川区台町 11-25-203

TEL：045-290-5877

FAX：0467-24-1900



www.okuyama104.com

メール：info@okuyama104.com

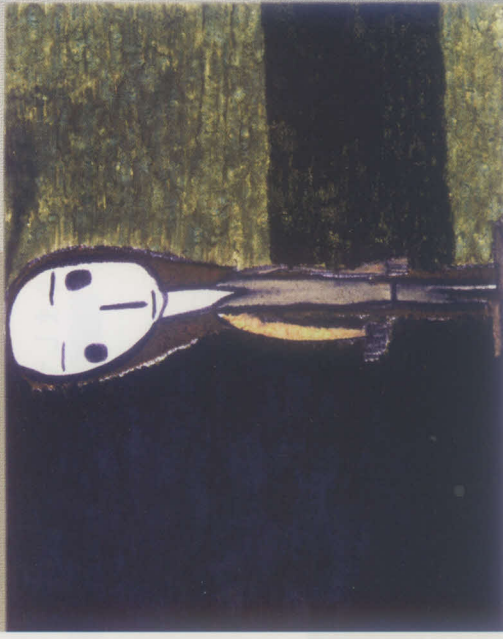
書籍出版のご案内

市川房枝生誕130年を前に

権利の上に眠るな

～普選、婦選、そして18歳～

奥山 眞佐子



いちまるよん

新宿・紀伊國屋ホール公演 (2022.4.27)

市川房枝生誕130年を前に

権利の上に眠るな

～普選、婦選、そして18歳～

の上演脚本を改定し、女性参政権獲得までの歴史を脚本形式で出版しました。

奥山眞佐子

樋口一葉の小説をひとり芝居で演じて26年目(三越劇場12年連続公演)の

奥山眞佐子が

市川房枝生誕130年を前に

権利の上に眠るな

～普選、婦選、そして18歳～

の脚本を書き、市川房枝役を演じた。

*上演までの経緯につきましては、下記ウェブサイトをどうぞ参照ください。 **論座 権利の上に眠るな**で検索

「権利の上に眠るな」～市川房枝と婦選運動の歩みをなぞいま舞台化するのか 大森真紀

論座 朝日新聞社の言論サイト



市川房枝記念会『女性展望』2022年7-8月号の表紙より

舞台は満席となり好評を得、脚本を読みたいたの声を多数いただきました。そこで、改定を加え、女性参政権獲得までの歴史を脚本形式で出版。

≪…二幕…≫

市川 快諾してくれました。

この申し入れが、館野重郎内閣の初閣議の10月10日、強切善次郎内相によって提案され、そして可決したのです。婦人参政権が決定したんです。やっと日本の女性は、政治に参加する権利を手に入れたんです。

時代の声【1946(昭和21)年4月10日衆議院総選挙】

市川 このとき、女性の立候補者は70名うち39名が、当選を果たしました。女性有権者数は約2000万人、投票率は67%。

岡村 投票の日、市川先生はどんなお姿で…。

市川 選挙人名簿の記載漏れで投票できませんでした。



1946年4月10日 女性初参政権施行の投票風景

(一幕)

1878(明治11)年～1924(大正13)年 楠瀬喜多の「女ヤキ投票でキンアラアテおかしやありませんか」の訴えに始まり 矢嶋楫子、樋口一葉、与謝野晶子、平塚らいてう、山田わか、市川房枝らによって日本女性(婦人)の置かれている状況が語られる。

(二幕)

市川房枝(81歳)が、久布白落実、村岡花子ら「婦選獲得同盟」の仲間たちとともに展開した女性(婦人)が参政権を手に入れるまでの歩み1924(大正13)年～1947(昭和22年)を語る。

1945年8月25日

市川房枝は、「戦後対策婦人委員会」を組織して「申し合わせ案」提出。

10月10日 婦人参政権、閣議決定。

1947年5月3日

現在の日本国憲法によって、すべての国民は法の下に平等となった。

≪…一幕…≫

この市川房枝さん、お前の親やわが爺を助けたのは、昭憲のときです。「昭憲を助けた女」新聞の記者として行かれた。もうともかく昭憲が欲しうと「東京の仕事を見つめてください」と語りました。そして出陣前の夫の英雄譚で新聞執筆をさせて、よく勉強しました。「昭憲」の記者だつた私は、昭憲さんお爺さんを引寄せました。

市川房枝 謹言

市川 初まして、市川房枝と申します。

平塚らいてうです。私、新しい婦人の団体を創ろうと考えています。是非あなたのように、事務的才能のある方、手伝っていただきたい。

市川 婦人の地位向上、婦人の解放のための運動は、私が努めていることです。ご協力をお願いします。私は「投票法改正案」改



平塚らいてう(左)と市川房枝(右)

「公益財団法人・市川房枝記念会女性と政治センター」よりお借りした数々の写真が掲載され、読みやすい誌面です。